

【含めるべき項目】

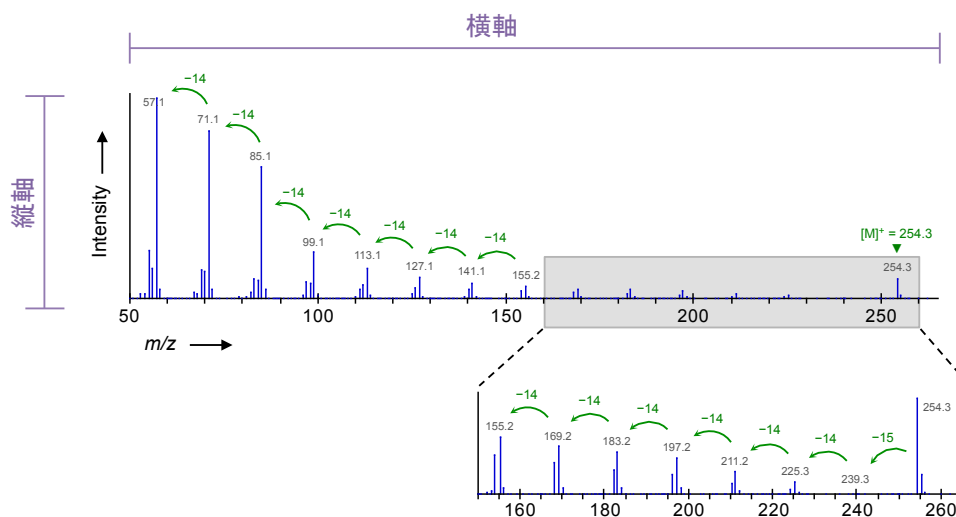
1. はじめに：

取り上げる化合物の説明

2. マススペクトル，または，クロマトグラムとマススペクトル：

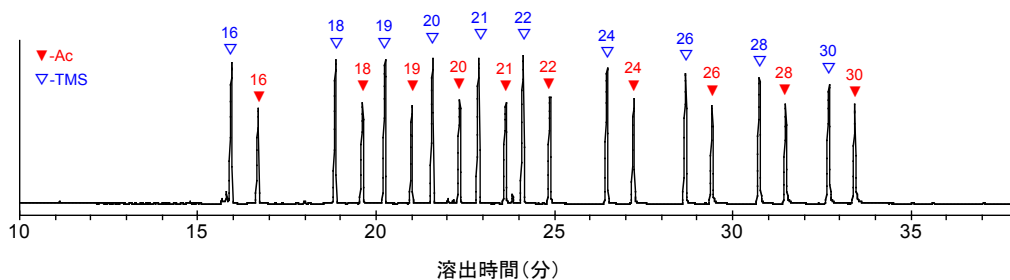
典型的なマススペクトルとその説明

- ・一連の化合物群の場合には代表的なマススペクトル 2 つ程度
- ・同じ分類群でもスペクトルが異なる場合には，必要最小限
- ・フラグメンテーションの仕方（文章で説明あるいは図示） など
- ・マススペクトルのサイズは，以下を目安とする



- メインのスペクトルの縦軸：横軸 = 1：4
- スペクトルの一部を拡大して説明する場合には，説明しやすい任意の大きさを用いる
- 使用する色は，軸：黒，スペクトル：青，イオンフラグメンの m/z ：グレー，開裂パターンの説明：緑（複数のパターンを示す場合は，2つ目以降は任意の色を使用する）

- ・TIC等のクロマトグラムのサイズは，以下を目安とする



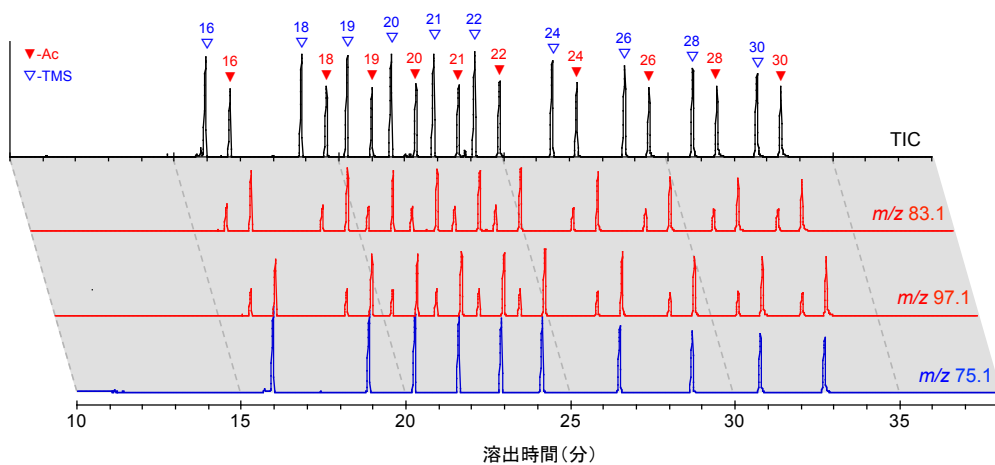
- iv. クロマトグラムの縦軸：横軸 = 1：6
- v. 軸：黒，それ以外：任意

3. 同定：

同定するために役立つ情報や同定するための方法論の説明

- ・クロマトグラム
- ・特徴的なマススペクトル
- ・イオンフラグメントによるスクリーニング など
- ・抽出イオンクロマトグラムは，以下を目安とする

(3) *n*-Alkanol



- i. 各クロマトグラム (TIC, 抽出イオン共に) の縦軸：横軸 = 1：8
- ii. 使用する色は，軸：黒，TIC：黒，抽出イオンクロマトグラム：任意

4. 質量情報：

化合物名，化合物および主要なイオンフラグメントの *m/z* など

5. 試料と分析方法：

- ・使用した試料，または標準物質，試薬，溶媒等
- ・前処理法 (抽出，精製，誘導體化，など)
- ・使用した分析機器と分析条件

6. 引用文献：

本文中で文献を引用する場合には，引用文献を記載 (形式は ROG に従う)

【備考】

- *n*-alkane, *n*-alkanoic acid, *n*-alkanol ように一連の化合物（またはその誘導体化合物）は、共通のフラグメンテーションを持つものが多いので、できるだけ1つの原稿（項目）にまとめるように努力する。ただし、著者が異なる場合や共通の原理で説明できない場合には、別の項目にする。
- 3. 同定と 4. 質量情報は一緒にしてもよい。
- 6. 引用文献は、本文中に引用文献がない場合には、不用。
- 化合物、試薬等は、英語表記、または日本語表記（英語表記）のどちらかとする。
- 試料と分析法は、他の論文を引用する形をとり省略してもよい。
- 試料は、環境試料でも標準物質でもよいが、環境試料の場合には、ROG 技術論文に準拠した形で、同定のレベル（信頼性）を示す。
- 使用したクロマトグラムとマススペクトルの xy データ（csv や excel 等）を用意し（後日、読者が HP からダウンロードできるようにする予定）、受理後に提出する。
- 本文、及び表の日本語は明朝体、英語は Times または Times New Roman を使用する。図は Arial を用いる。